

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年5月7日 (2015.5.7)

【公開番号】特開2013-208068(P2013-208068A)

【公開日】平成25年10月10日 (2013.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-056

【出願番号】特願2012-79767(P2012-79767)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/00 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月24日 (2015.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

反応液と、前記反応液とは比重が異なり、前記反応液とは混和しない液体とが充填され、前記反応液が移動する流路を含む反応容器を装着する装着部と、

前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記流路の第 1 領域を加熱する第 1 加熱部と、

前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記第 1 領域とは異なる前記流路の第 2 領域を加熱する第 2 加熱部と、

前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の配置を、前記装着部に前記反応容器を装着した場合に、重力の作用する方向における前記流路の最下点の位置が前記第 1 領域内となる第 1 の配置と、重力の作用する方向における前記流路の最下点の位置が前記第 2 領域内となる第 2 の配置との間で切換える駆動機構と、

を含み、

前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の少なくとも一方は、温度の異なる複数のモードを有する、熱サイクル装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の熱サイクル装置において、

前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部を制御する制御部をさらに含み、

前記制御部は、

前記第 1 加熱部を第 1 温度、及び前記第 1 温度とは異なる第 2 温度に制御し、前記第 2 加熱部を前記第 1 温度及び前記第 2 温度とは異なる第 3 温度に制御する、熱サイクル装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の熱サイクル装置において、

前記制御部はさらに、前記駆動機構を制御し、

前記第 1 加熱部を前記第 1 温度に制御し、前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加

熱部の配置が前記第 1 の配置で第 1 時間を経過した場合に、前記第 1 加熱部を前記第 1 温度よりも高い前記第 2 温度に制御し、前記第 2 加熱部を前記第 2 温度よりも高い前記第 3 温度に制御し、前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の配置を、前記第 1 の配置から前記第 2 の配置へと切換えるように前記駆動機構を制御する第 1 処理と、

前記第 1 処理の後に、前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の配置が前記第 2 の配置で第 2 時間を経過させる第 2 処理と、

前記第 2 処理の後に、前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の配置が前記第 2 の配置で第 3 時間を経過した場合に、前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の配置を、前記第 2 の配置から前記第 1 の配置へと切換えるように前記駆動機構を制御する第 3 処理と、

を行う、熱サイクル装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の熱サイクル装置において、

前記制御部は、

前記第 3 処理の後に、前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の配置が前記第 1 の配置で第 4 時間を経過した場合に、前記装着部、前記第 1 加熱部及び前記第 2 加熱部の配置を、前記第 1 の配置から前記第 2 の配置へと切換えるように前記駆動機構を制御する第 4 処理と、前記第 3 処理とを所定回数繰り返して行う、熱サイクル装置。